

# 水稲初期害虫から

# 斑点米カメムシ類まで 同時に防除!

農林水産省登録 第23074号

## 育苗箱専用殺虫剤

ジノテフラン粒剤  
ジノテフラン…12.0%

# アトラクトン®

## 箱粒剤

トビイロウンカ

セジロウンカ  
成虫と幼虫

ヒメトビウンカ

フタオビコヤガ  
(イネアオムシ)

ニカメイチュウ

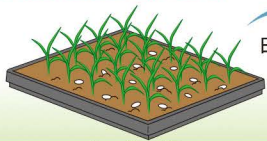


### 長期間効果が持続

有効成分は  
根から吸収され  
葉先まで移行

有効成分  
ジノテフランを  
徐々に持続的に  
放出する製剤

●：有効成分ジノテフラン  
○：製剤



育苗期

田植

本田

イネミズゾウムシ

防除が必要な時期

イネドロオイムシ

ウンカ類

斑点米カメムシ

イネカラバエ

フタオビコヤガ

ニカメイチュウ

新製剤

一般的な製剤

●新省力体系

アトラクトン  
箱粒剤

殺虫効果の持続期間

殺虫剤  
状況に応じて  
追加散布

●今までの体系

箱粒剤

殺虫効果の持続期間

殺虫剤

殺虫剤  
状況に応じて  
追加散布

アカヒゲホソミドリカスミカメ



アカスジカスミカメ



イネミズゾウムシ



イネドロオイムシ



イネカラバエ 幼虫



成虫

イネクロカメムシ 成虫



幼虫



農林水産省「稲発酵粗飼料  
生産・給与技術マニュアル」  
に記載された農薬です。



三井化学クロップ&ライフ  
ソリューション株式会社

アトラクトンは登録商標です

# アトラクト 箱粒剤

■有効成分：ジノテフラン…12.0%

■人畜毒性：普通物\*

※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

## 水稲初期害虫からウンカ類、斑点米カメムシ類まで同時防除!

●有効成分ジノテフランを12%配合することにより、従来の箱処理剤では防除が困難であった斑点米カメムシ類の防除が可能。また、ウンカ類を出穂期前まで抑えるので、ヒメトビウンカが媒介する縞葉枯病の予防効果も期待できます。さらに、水稲の主要害虫であるイネドロオウムシ・イネミズゾウムシに安定した効果を発揮します。

## 本田散布が難しい地域での新しい防除法

●ドリフトや散布労力などの問題で、本田での防除が難しい地域に省力的な防除方法を提供します。さらに、成分数の削減にもお役立ていただけます。

## 長期間の効果持続を可能とした新製剤

●有効成分ジノテフランを徐々に、持続的に放出する製剤のため、長期間効果を持続します。

### 適用害虫と使用方法

\*育苗箱は30×60×3cm、使用土壌約5ℓ

2021年10月27日現在

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	カメムシ類	育苗箱*1箱当り50g	移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
	ウンカ類 イナゴ類 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ イネカラバエ フタオビコヤガ ニカメイチュウ	高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱*1箱当り50~100g)	移植3日前~移植当日			
		育苗箱*1箱当り50g				

### 使用に当たっての留意点

#### ◆水管理>>>

◎減水深の大きな圃場では、十分な効果が得られなくなる恐れがあります。

#### ◆周辺に草地がある場合>>>

◎水田内にヒエやホタルイなどの雑草が多い場合や、水田の周囲に休耕田、牧草地、高速道路ののり面、土手などの草地がある場合、カメムシの繁殖源となり、水田内への侵入が多くなります。

◎出穂10日前までに草刈りなどの管理を行ってください。  
◎雑草管理ができない場合は、本剤の使用はおすすめできません。

#### ◆割れ粉\*の多発が予想される場合>>>

#### ◆カメムシ類の発生が遅延する場合>>>

◎出穂14~21日後頃に、本田防除を行ってください。

#### ◆カメムシ類が多発する場合>>>

◎出穂14~21日後頃、状況に応じて本田防除をご検討ください。特に、本田でのカメムシ密度が低下しない場合は、本田防除を行ってください。

#### ◆カスミカメ類\*以外のカメムシ類が発生する場合>>>

◎本剤のみでは効果不十分となる可能性がありますので、必要に応じて本田防除を行ってください。

※7月中下旬頃低温で籾の生育が悪く、かつ8月高温で登熟が進む場合は、割れ粉が発生しやすくなります。品種によっては割れ粉が発生しやすいものもあります。

※カスミカメ類は、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメ、ムギカスミカメなどです。

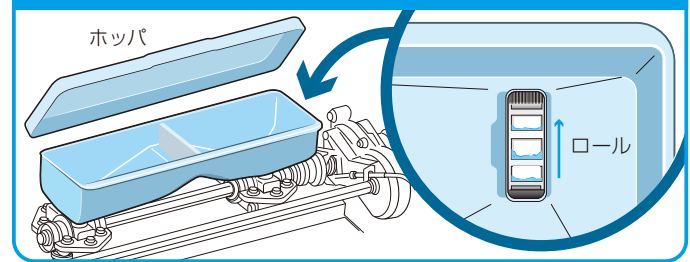
#### ■使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粒として200~300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50~100gまでの範囲で調整してください。
- 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理してください。
- 本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから田植機にかけて移植してください。育苗箱に高密度には種した場合は、とくに注意して葉に付着した薬剤を払い落としてください。
- 処理苗の移植後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 葉先枯れなどの薬害を生じることがあるので、散布ムラがないよう均一に散布してください。
- 容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

#### ■安全使用上の注意事項

- 眼に刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

ヤンマー製の箱施用剤散布機 TSシリーズ 使用時は、20-30kg 使用毎にロールを掃除してください。ロールに薬剤が付着すると散布量が変わることがあります。



○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○防除日誌を記帳しましょう。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。

\*本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 \*本印刷物は2023年3月31日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

取扱い



三井化学クロップ&ライフ  
ソリューション株式会社

東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイヤビルディング  
ホームページ <https://www.mc-croplifesolutions.com>